

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床微生物学実習	2年次	必修	実習	2単位（90時間）	金子 博司 ※
授 業 概 要					
微生物の培養法、染色法、滅菌消毒法、化学療法剤とワクチンなど、微生物を取り扱う上で基本となる事項、各種病原細菌の同定法について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手指や作業環境の消毒・滅菌を自分で判断して実行できる。</li> <li>・ 目的による培養法の違いをよく理解し、実行できる。</li> <li>・ 分離培養、純培養などの培養手技を適切に行うことができる。</li> <li>・ 様々な菌の培養や性状確認テストを行うことにより、それぞれの菌の性状や特徴、臨床的意義などを説明できる。</li> <li>・ 薬剤感受性試験の意義、方法を理解し、実行できる。</li> <li>・ さまざまな検体の保存法や検査の進め方を理解し、自分一人の判断で検体の検査を行い同定できる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-45	<p>消毒・滅菌法：各種消毒剤、滅菌法の知識と手技を修得する。</p> <p>培地作製法：基本的な培地の作製手技を修得する。</p> <p>培養法、グラム染色：さまざまな培養法の知識と手技の修得、グラム染色の練習 スタヒロкокカス属の同定、ストレプトкокカス属の同定、ヘモフィルス属の同定、シュードモナス属の同定、ビブリオ属の同定、クロストリジウム属の同定、結核菌の培養方法及び染色法</p> <p>腸内細菌科の同定法：S S寒天培地など各種培地、糖利用能や簡易同定キットなど各種性状確認テスト、鞭毛染色（レイフソン法）、血清学的同定法、シュードモナス属の同定法、ビブリオ属の同定法、クロストリジウム属の同定法、嫌気培養、性状確認テスト</p> <p>薬剤感受性試験：ディスク法による薬剤感受性試験</p> <p>真菌の同定法：サブロー寒天培地など各種培地、スライドカルチャー</p> <p>検体別検査法：検体の保存法、検体別塗抹検査</p> <p>検体別検査法：検体別培養検査、同定、定量培養</p>				金子 博司 ※ 小林 浩二
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表的な病原微生物を配付し、同定、感受性試験について一連の流れを実習する。</li> <li>・ 各菌の性状や各種生化学反応の確認・スケッチが重要となる。</li> <li>・ 各種反応を写真撮影し、画像としてレポートに貼付けるのも良い方法である。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習修了試験（70%）及び実技試験（10%）レポート等（20%）により評価する。</li> <li>・ レポート等は評価基準に従い評価し、これを満たさない場合は評価しない。</li> <li>・ 再試験も同様に評価するが、レポートの再評価はしない。</li> </ul>					
先 修 科 目					
生物学、感染生体防御学					
教科書、参考書					
<p>〔教科書〕</p> <p>臨床検査学講座 微生物学／臨床微生物学 岡田 淳 他 医歯薬出版 微生物学検査学実習 森田 耕司 他 医歯薬出版</p> <p>〔参考書〕</p> <p>病気がみえる 免疫・膠原病・感染症 メディックメディア</p>					